

2022年度（令和4年度）
「福山市子ども・子育て支援事業計画」の実施状況

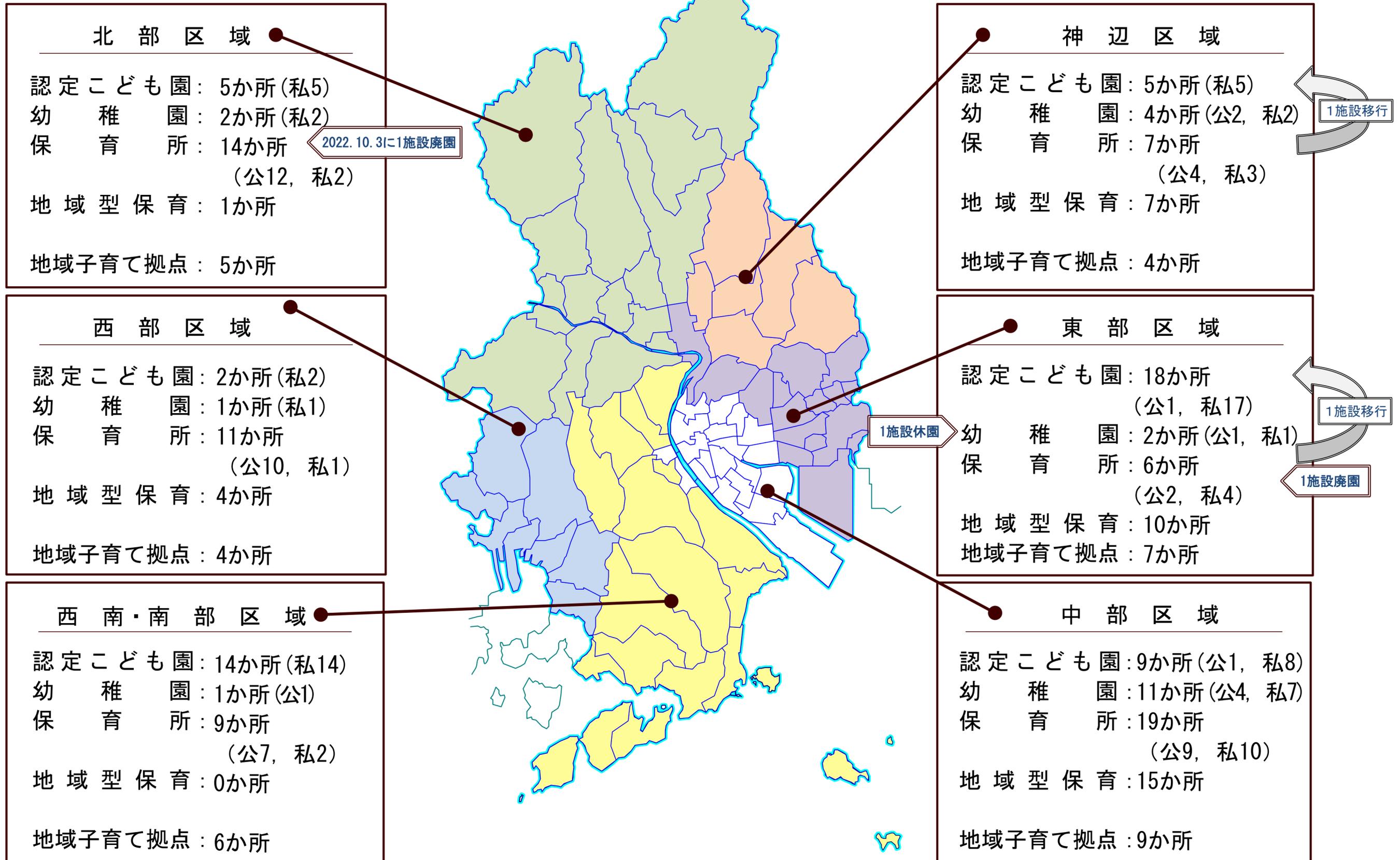
計画期間：2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）

・教育・保育の量の見込みと確保方策について	1
・地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について	6

教育・保育の量の見込みと確保方策について

2023年（令和5年）4月1日現在

○区域別の子育て支援サービスの状況



1号認定+幼児期の学校教育の利用希望が強い児童（認定こども園・幼稚園）

(単位：人)

(単位：人)

○量の見込み

区分	2022年度 事業計画 (A)	2022年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)
3～5歳人口	11,336	11,329	△ 7
1号認定	3,941	3,667	△ 364
幼児期の学校教育の利用 希望が強い児童	3,941	3,667	△ 364
他市町の子ども	府中市 20 尾道市 40 井原市 20 笠岡市 10	(他市町の子どもを含む)	
合計	4,031	3,667	△ 364

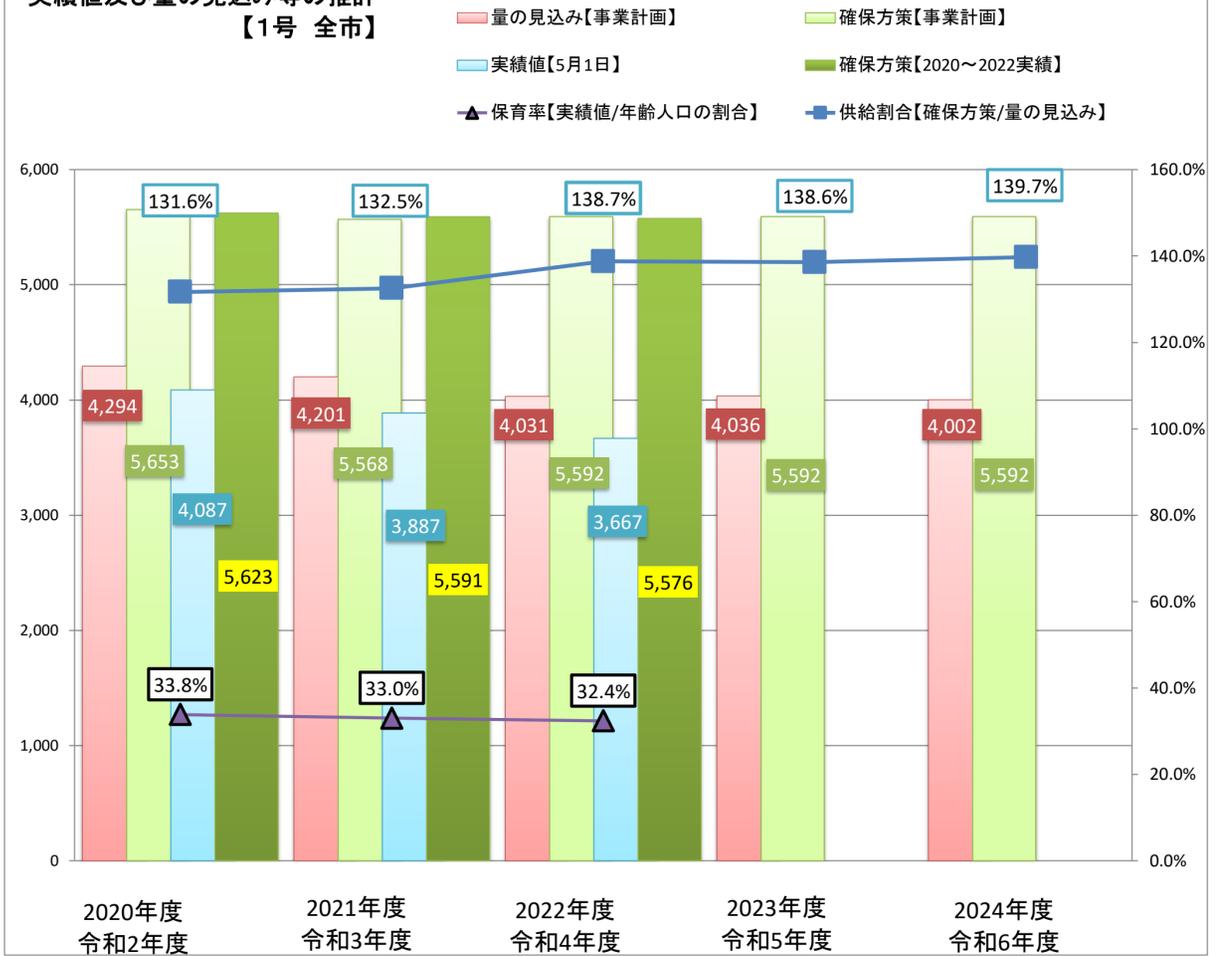
2023年度 事業計画 (C)
11,352
3,946
府中市 20 尾道市 40 井原市 20 笠岡市 10
4,036

○確保方策

区分	2022年度 事業計画 (A)	2022年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	3,767	3,581	△ 186
確認を受けない幼稚園	1,795	1,995	200
他市町の幼稚園	尾道市 30	30	0
合計	5,592	5,606	14

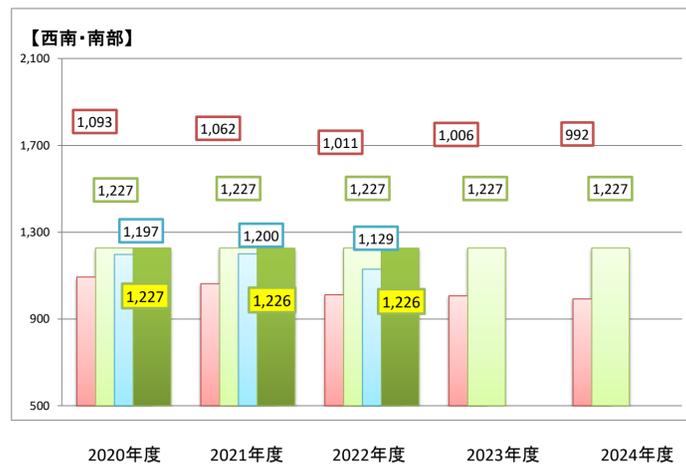
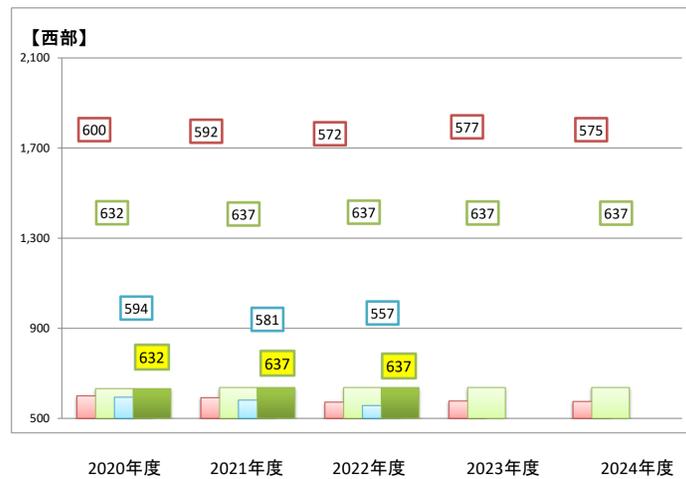
2023年度 事業計画 (C)
3,767
1,795
尾道市 30
5,592

実績値及び量の見込み等の推計
【1号 全市】



●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	2,464	3,581	1,117
確認を受けない幼稚園	1,203	2,025	822
実績値 合計	3,667	5,606	1,939



○量の見込み

区分	2022年度 事業計画 (A)	2022年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2023年度 事業計画 (C)
3～5歳人口	11,336	11,329	△ 7	11,352
東部	1,402	1,650	248	1,389
中部	1,907	2,034	127	1,934
北部	1,244	1,194	△ 50	1,240
神辺	808	835	27	818
西南・南部	1,011	1,129	118	1,006
西部	572	557	△ 15	577
利用量合計	6,944	7,399	455	6,964

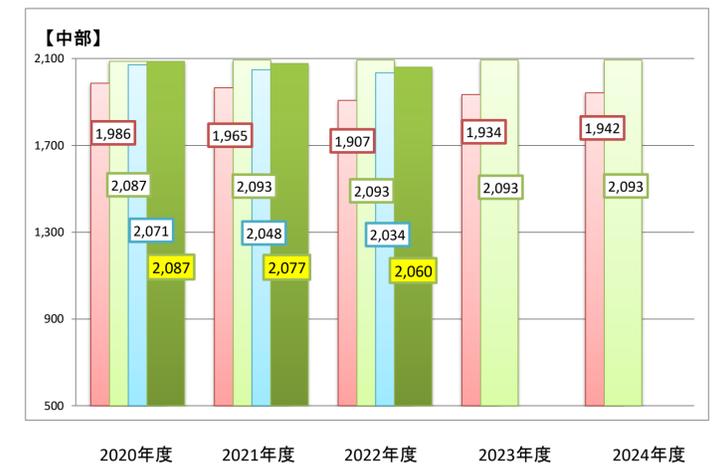
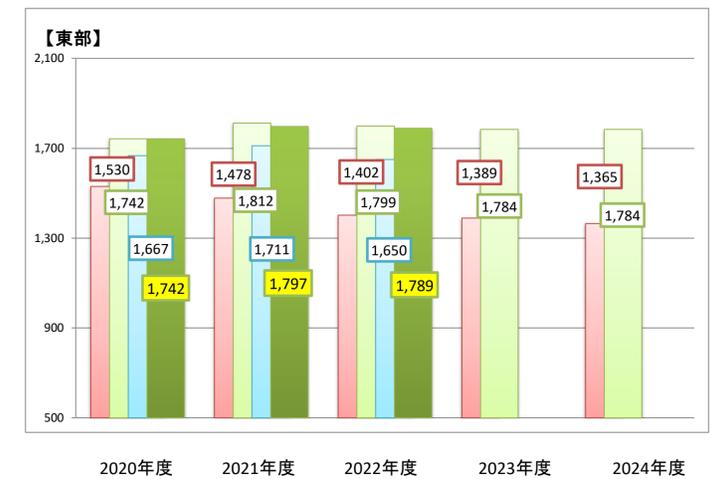
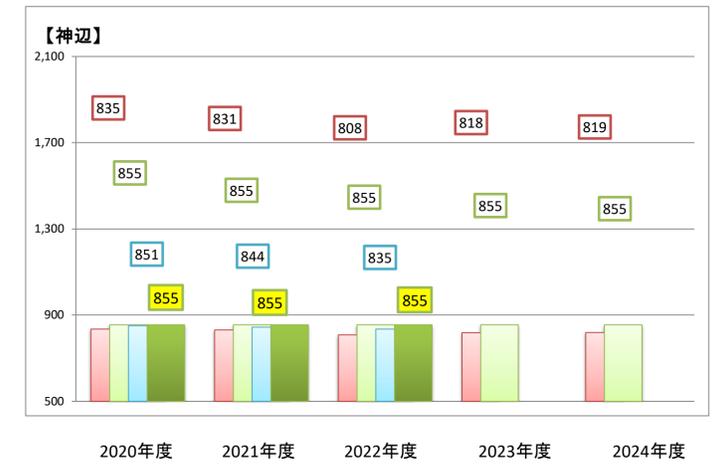
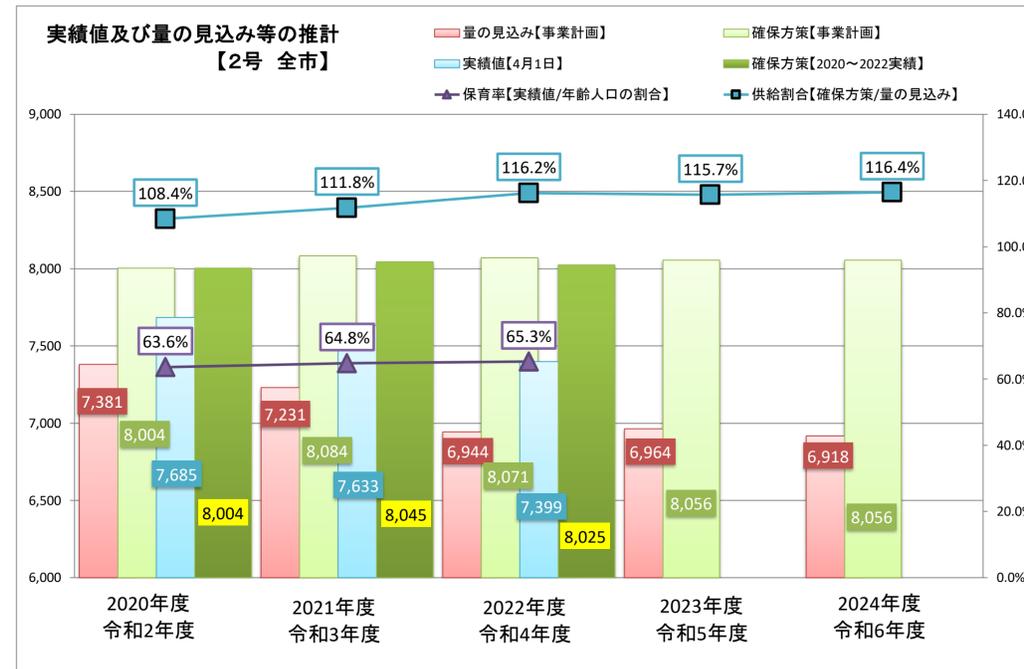
○確保方策

区分	2022年度 事業計画 (A)	2022年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2023年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設	8,071	8,025	△ 46	8,056
東部	1,799	1,789	△ 10	1,784
中部	2,093	2,060	△ 33	2,093
北部	1,460	1,458	△ 2	1,460
神辺	855	855	0	855
西南・南部	1,227	1,226	△ 1	1,227
西部	637	637	0	637
合計	8,071	8,025	△ 46	8,056

●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
実績値	7,399	8,025	626

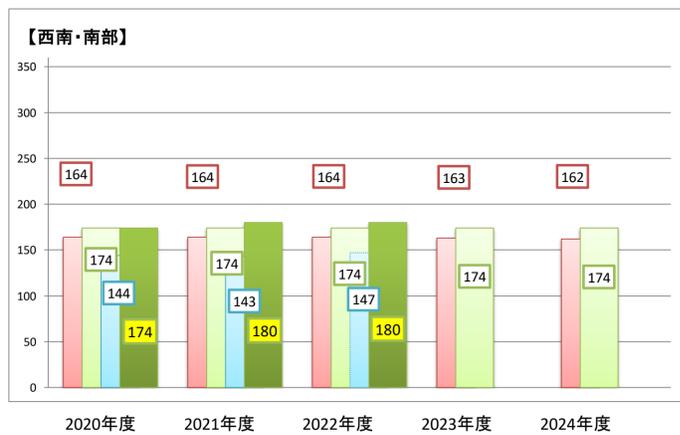
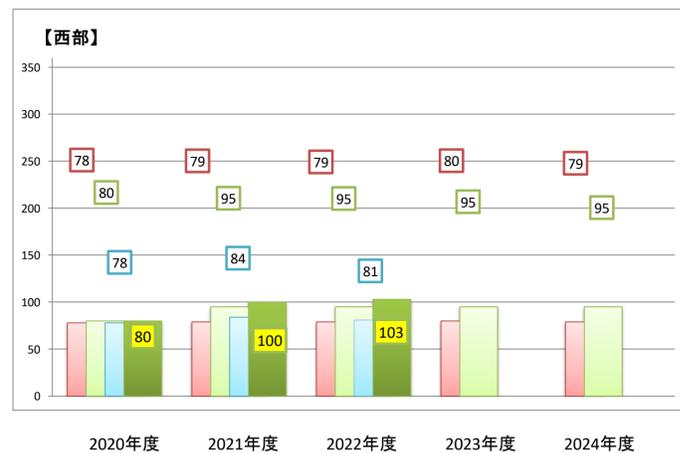
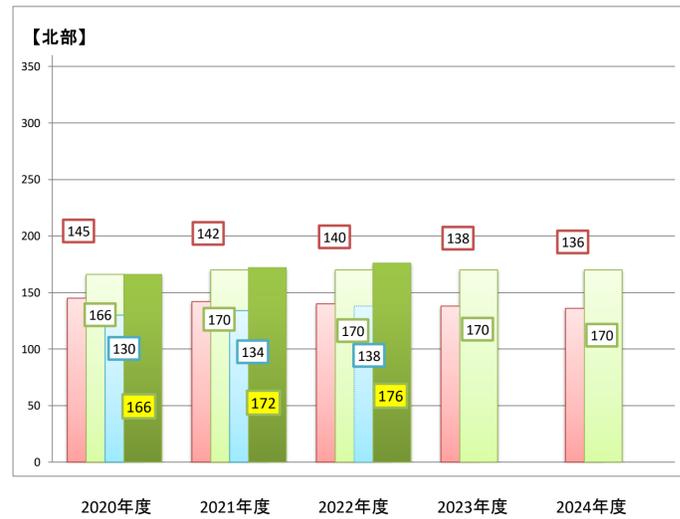
実績値及び量の見込み等の推計
【2号 全市】



3号認定【0歳】（認定こども園・保育所・地域型保育事業）

（単位：人）

※ 当該年度の3月1日の0歳児入所児童数に100/120を乗じた数値



○量の見込み ※

区分	2022年度 事業計画 (A)	2022年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2023年度 事業計画 (C)
0歳人口	3,716	3,358【4月1日】 4,959【年平均】	△ 358 -	3,650
利用量	1,124	1,129	5	1,116
東部	283	308	25	281
中部	355	341	△ 14	352
北部	140	138	△ 2	138
神辺	103	114	11	102
西南・南部	164	147	△ 17	163
西部	79	81	2	80
利用量合計	1,124	1,129	5	1,116

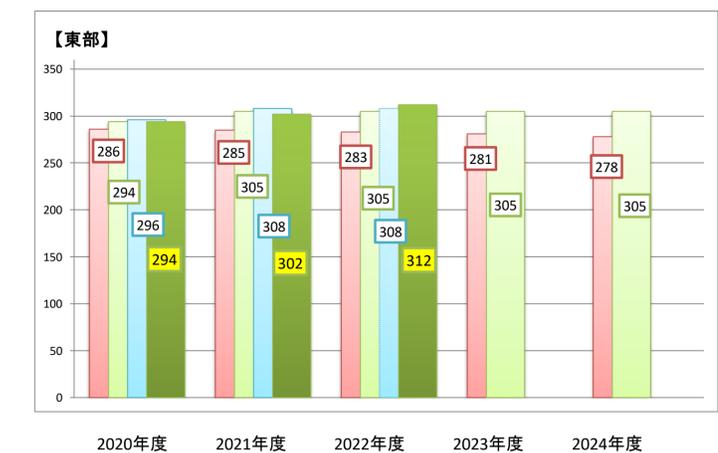
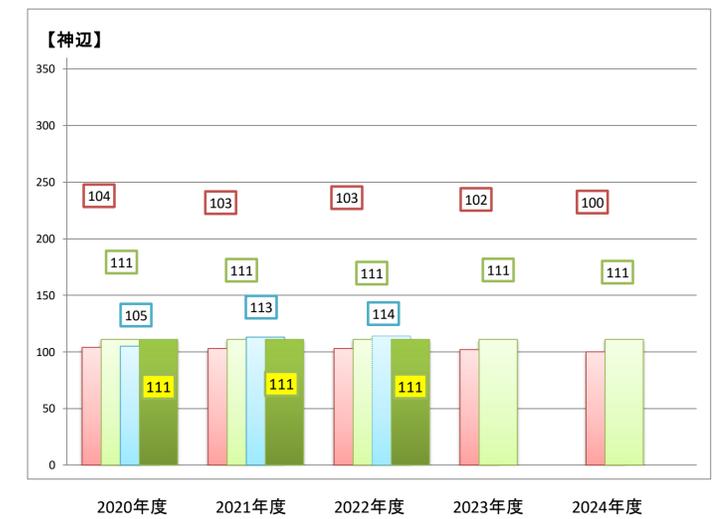
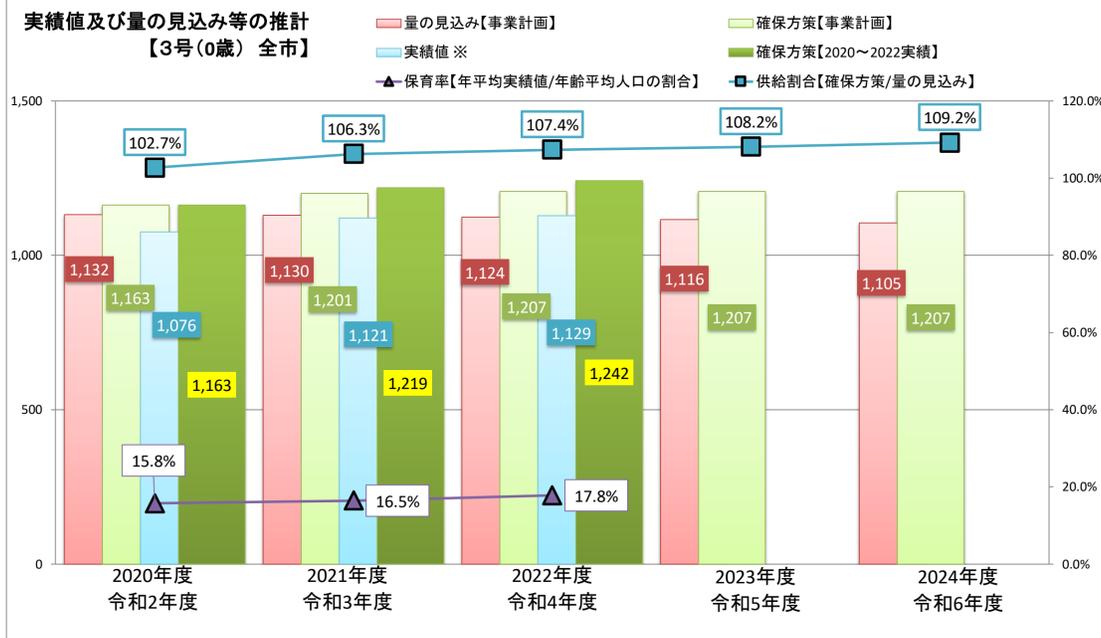
○確保方策

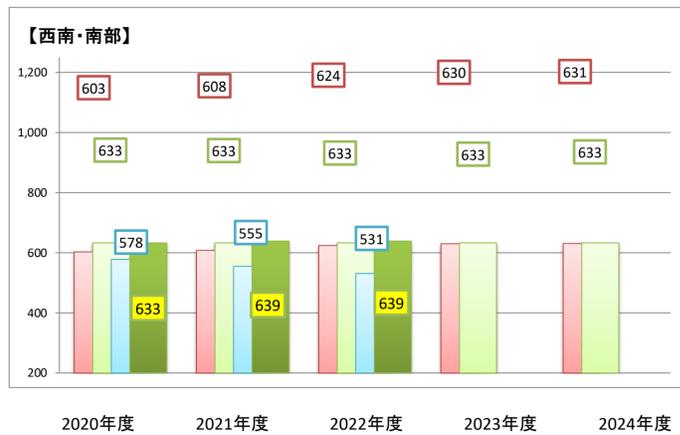
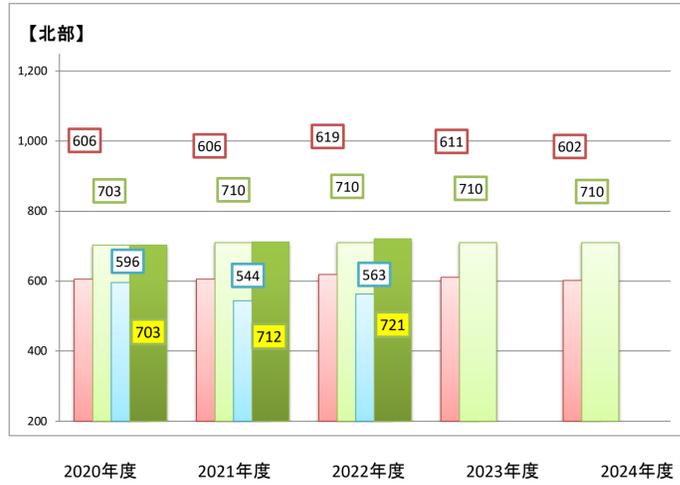
区分	2022年度 事業計画 (A)	2022年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2023年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設	1,092	1,107	15	1,092
東部	278	276	△ 2	278
中部	280	288	8	280
北部	170	173	3	170
神辺	103	103	0	103
西南・南部	174	180	6	174
西部	87	87	0	87
特定地域型保育事業	115	135	20	115
東部	27	36	9	27
中部	72	72	0	72
北部	0	3	3	0
神辺	8	8	0	8
西南・南部	0	0	0	0
西部	8	16	8	8
合計	1,207	1,242	35	1,207

●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
実績値	1,129	1,242	113

実績値及び量の見込み等の推計
【3号(0歳) 全市】





○量の見込み

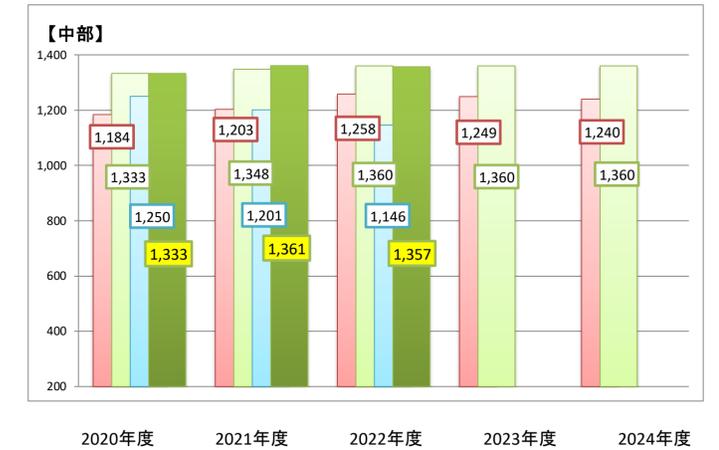
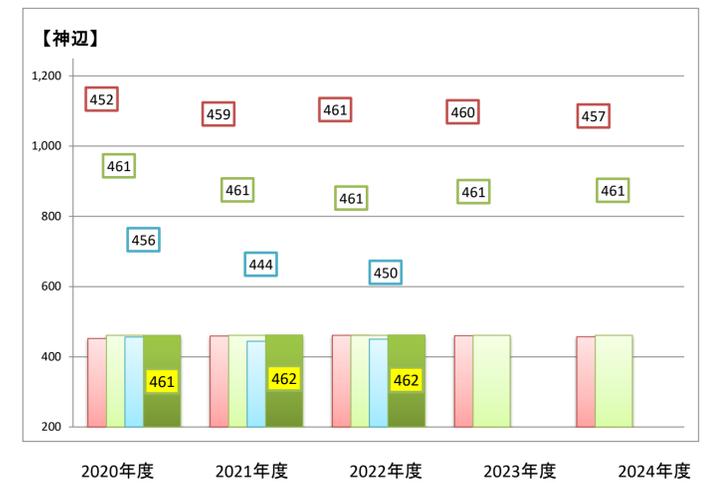
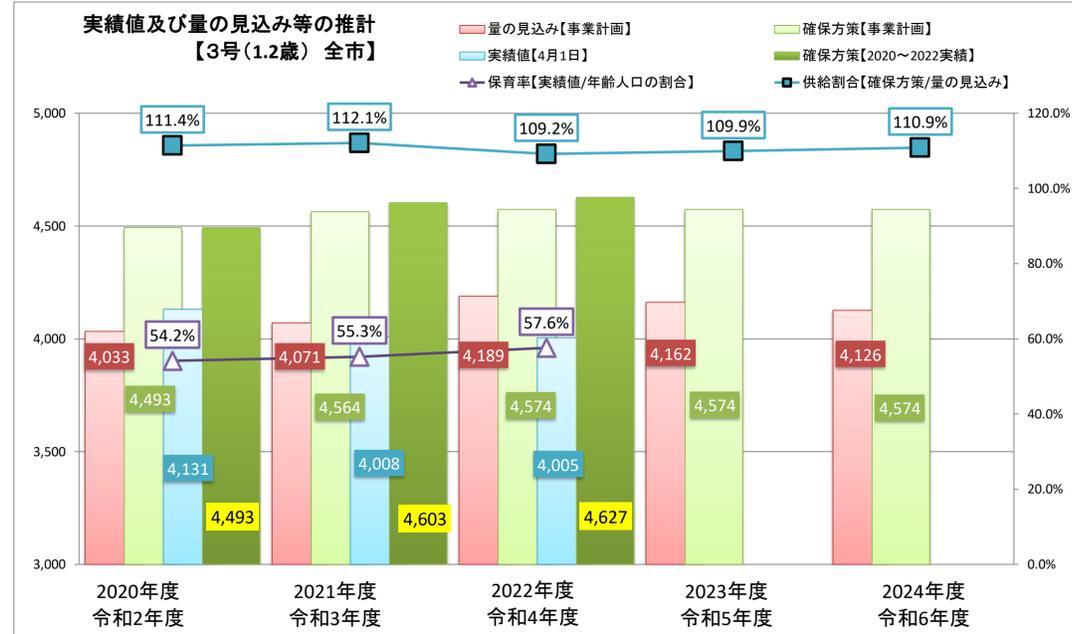
区分	2022年度 事業計画(A)	2022年度 実績値(B)	計画値との差 (B) - (A)	2023年度 事業計画(C)
1・2歳人口	7,701	6,953	△ 748	7,571
東部	930	1,002	72	919
中部	1,258	1,146	△ 112	1,249
北部	619	563	△ 56	611
神辺	461	450	△ 11	460
西南・南部	624	531	△ 93	630
西部	297	313	16	293
利用量合計	4,189	4,005	△ 184	4,162

○確保方策

区分	2022年度 事業計画(A)	2022年度 実績値(B)	計画値との差 (B) - (A)	2023年度 事業計画(C)
特定教育・保育施設	4,284	4,287	3	4,284
東部	970	967	△ 3	970
中部	1,196	1,191	△ 5	1,196
北部	710	715	5	710
神辺	434	434	0	434
西南・南部	633	639	6	633
西部	341	341	0	341
特定地域型保育事業	290	340	50	290
東部	78	94	16	78
中部	164	166	2	164
北部	0	6	6	0
神辺	27	28	1	27
西南・南部	0	0	0	0
西部	21	46	25	21
合計	4,574	4,627	53	4,574

●実績値比較

区分	利用量(a)	確保方策(b)	差(b)-(a)
実績値	4,005	4,627	622



地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画番号	事業名	2022年度事業計画	2022年度実績		2023年度事業計画	次世代育成支援対策推進行動計画【施策の体系】
			実績内容	実績値		
①	利用者支援事業 [子育て世代包括支援センター事業]	量の見込み 実施か所数(か所) 13 確保方策 実施か所数(か所) 13	●妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援を行うために総合的な相談窓口である子育て世代包括支援センター(福山ネウボラ相談窓口)を設置し、相談や情報提供を行う。関係機関とネットワークを構築し、連絡調整を行う。 ●福山ネウボラ相談窓口「愛称:あのね」実施箇所 13か所 ・ふくやま子育て応援センター ・保育所・認定こども園6か所 ・保健事業実施課5か所 ・ぬまくま子育て支援センター	実績値 実施か所数 13	量の見込み 実施か所数(か所) 13 確保方策 実施か所数(か所) 13	1-(1)-①
②	地域子育て支援拠点事業	量の見込み 利用量(人日/年) 245,600 確保方策 実施か所数(か所) 36 【参考】提供可能量 252,000	●「キッズコム」や地域の拠点保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者とその子どもを対象に、遊び場の提供、相談・援助、子育て情報の提供、子育て講座を実施した。また、家庭訪問を行い、気軽に相談できる体制を図った。 ●地域子育て支援拠点実施か所(36か所) 一般型 6~7日型 市立(キッズコム) 1か所 私立(いくたす) 1か所 5日型 市立 6か所 私立 4か所 3~4日型 私立 24か所	実績値 実施か所数(か所) 36 利用量(人日/年) 131,764	量の見込み 利用量(人日/年) 248,711 確保方策 実施か所数(か所) 37 【参考】提供可能量 259,500	1-(2)-②
③	妊婦健康診査	量の見込み 対象人数(人) 3,777 健診回数(回) 13.0 延受診件数(件) 46,457 確保方策 延受診件数(件) 46,457	●妊婦一般健康診査及び検査受診票を1回の妊娠につき、妊婦一般健康診査補助券14枚、妊婦一般健康診査検査券1枚、子宮頸がん検診受診券1枚、HTLV-1検査を1枚、クラミジア検査受診券1枚を交付した。	実績値 延受診件数(件) 42,361	量の見込み 対象人数(人) 3,710 健診回数(回) 13.0 延受診件数(件) 45,634 確保方策 延受診件数(件) 45,634	2-(1)-④
④	こんにちは赤ちゃん訪問事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	量の見込み 訪問件数(件) 3,716 確保方策 訪問件数(件) 3,716	●2008年度から実施しており、2022年度は、訪問対象3,221件に対し、訪問実績は3,113件(96.6%)となった。 [キラキラサポーター:子育て支援ボランティア1,068件、育児家庭訪問員981件、保健師1,064件] ●訪問時には「子育て安心ファイル」により、予防接種の受け方や「あのね」等の相談窓口の紹介を行った。	実績値 訪問件数(件) 3,113	量の見込み 訪問件数(件) 3,650 確保方策 訪問件数(件) 3,650	2-(1)-⑨
⑤	養育支援訪問事業	量の見込み 訪問件数(件) 126 確保方策 訪問件数(件) 126	●育児家庭訪問員指導員(保健師、助産師、保育士などの有資格者)が訪問し、育児支援するとともに、要支援家庭については学区担当保健師と連携した。 ●こんにちは赤ちゃん訪問事業等により把握した、養育支援の必要な家庭に対しその養育が適切に行われるよう、当該居宅において①養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行う専門的相談支援と②委託事業所からヘルパーを派遣する、育児・家事支援を行い、家庭における適切な養育ができるよう支援した。 ●必要に応じて、関係機関と連携して支援を行った。	実績値 訪問件数(件) 99 専門的相談支援(保健師・育児家庭訪問指導員) 99 育児家事援助(ヘルパー) 7	量の見込み 訪問件数(件) 127 確保方策 訪問件数(件) 127	2-(2)-④

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画番号	事業名	2022年度 事業計画	2022年度実績		2023年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】
			実績内容	実績値		
⑥	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	量の見込み 利用量(人日/年) 207	●実施か所 3か所 ・福山乳児院(2歳未満) ・こぶしヶ丘学園(2歳以上) ・里親(原則18歳未満) ●利用状況 ・福山乳児院 8人 32日 ・こぶしヶ丘学園 14人 56日 ・里親 0人 0日	実績値 実施か所数(か所) 3	量の見込み 利用量(人日/年) 206	1-(2)-⑤
		確保方策 利用量(人日/年) 215		実績値 利用量(人日/年) 88	確保方策 利用量(人日/年) 215	
⑦	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)	量の見込み 【低学年】利用量(延人/年) 636 【高学年】利用量(延人/年) 206	●依頼内容が多様化しているため、援助の希望を丁寧に把握し相互援助活動がスムーズにいくように努めた。 ●活動 延べ件数 2,416件 前年度 2,588件 主な活動は、保幼の迎え及び預かり、習い事等の援助、学童の送迎 ●2022年3月末会員数 依頼会員 776人 (745人) 協力会員 172人 (162人) 両方会員 74人 (73人) ()内は、2021年3月末 ●さまざまな援助依頼に対応できるよう引き続き周知活動を行い、協力・両方会員の増員に努める。	実績値 【低学年】利用量(延人/年) 918 【高学年】利用量(延人/年) 242	量の見込み 【低学年】利用量(延人/年) 609 【高学年】利用量(延人/年) 205	1-(2)-③
		確保方策 【低学年】利用量(延人/年) 636 【高学年】利用量(延人/年) 206		実績値	確保方策 【低学年】利用量(延人/年) 609 【高学年】利用量(延人/年) 205	
⑧	一時預かり事業(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり) 【1号認定による利用】 【幼児期の学校教育の利用希望が強い児童による利用】	量の見込み 利用量(延人/年) 169,500	●家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として日中に、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行った。なお、幼稚園の一時預かり事業は、幼稚園在園児を対象としており、保育所等の一時預かり事業は、保育所等を利用していない乳幼児を対象としている。 ●実施か所 58か所(自主事業含む) ・市立幼稚園 9か所 ・私立幼稚園 4か所 ・公立認定こども園 2か所 ・私立認定こども園 43か所	実績値 利用量(延人/年) 107,094	量の見込み 利用量(延人/年) 197,925	1-(3)-①
		確保方策 利用量(延人/年) 173,717		実績値	確保方策 利用量(延人/年) 202,148	
⑧	一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外)	量の見込み 利用量(延人/年) 37,002	●保育所等による一時預かり ○保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。 ○実施か所 126か所(自主事業を含む) ・保育所(市立) 44か所 ・保育所(私立) 19か所 ・認定こども園(市立) 2か所 ・認定こども園(私立) 42か所 ・地域型保育事業 18か所 ・子育て支援施設 1か所 ●ファミリー・サポート・センター事業 ○延べ件数 2,416件(2023年3月末) 前年度 2,588件 (うち就学前子どもの利用 1,256件) ○主な活動は、学童の迎え、習い事等援助、帰宅後の預かり ●トワイライトステイ事業 ○実施か所 1か所 こぶしヶ丘学園(2歳以上) 0人 0日	実績値 利用量(延人/年) 17,167 ファミリー・サポート・センター事業(就学前)(延人/年) 1,256 トワイライトステイ事業(延人/年) 0	量の見込み 利用量(延人/年) 38,074	1-(3)-①
		確保方策 保育所による一時預かり(延人/年) 36,215 ファミリー・サポート・センター事業(就学前)(延人/年) 785 トワイライトステイ事業(延人/年) 2		実績値	確保方策 保育所による一時預かり(延人/年) 37,287 ファミリー・サポート・センター事業(就学前)(延人/年) 785 トワイライトステイ事業(延人/年) 2	
⑨	延長保育事業 (時間外保育事業)	量の見込み 利用量(人/年) 8,498	●実施か所 146か所(自主事業含む) ・保育所(市立) 44か所 ・保育所(私立) 26か所 ・認定こども園(市立) 2か所 ・認定こども園(私立) 49か所 ・地域型保育事業 25か所	実績値 利用量(人/年) 6,742	量の見込み 利用量(人/年) 8,493	1-(3)-①
		確保方策 利用量(人/年) 8,498		実績値	確保方策 利用量(人/年) 8,493	

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画 番号	事業名	2022年度 事業計画	2022年度実績		2023年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】
			実績内容	実績値		
⑩	病児保育事業	量の見込み 利用量（延人/年） 1,774 確保方策 利用量（延人/年） 7,800	●医療機関 4か所 橘高クリニック いぶき小児科 福山市民病院 おひさまこどもクリニック（休止） ●保育施設 1か所 こどもえん つくし	実績値 利用量（延人/年） 670	量の見込み 利用量（延人/年） 1,797 確保方策 利用量（延人/年） 7,800	1- (3) -①
⑪	放課後児童クラブ事業 （放課後児童健全育成事業）	量の見込み 【低学年】利用量（人） 5,082 【高学年】利用量（人） 1,096 確保方策 【低学年】利用量（人） 5,082 【高学年】利用量（人） 1,096	●対象は市内の小学校に在学する6年生までの保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童 ●開設時間 ・学期中 月～金曜日 下校時～18:00 土曜日 8:30～17:00 ・長期休業中 月～金曜日 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00	実績値 【低学年】利用量（人） 4,962 【高学年】利用量（人） 1,125	量の見込み 【低学年】利用量（人） 4,983 【高学年】利用量（人） 1,096 確保方策 【低学年】利用量（人） 4,983 【高学年】利用量（人） 1,096	1- (2) -⑥
⑫	実費徴収に係る補足給付を行う事業	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 -	●施設等利用給付認定を受けた子どもの保護者に対して、保護者が支払うべき実費徴収額のうち副食費の一部を補助	実績値 利用量（人） 218	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 -	
⑬	多様な事業者の参入促進・能力活用事業 【認定こども園特別支援教育・保育経費】	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 年間受入人数（人） -	●社会福祉法人が運営する幼保連携型認定こども園において、障がいのある1号認定子ども（※）を受け入れる場合に、職員の加配に必要な費用を助成することで、子ども一人一人の状態に応じた適切な教育・保育の提供を行う。 ※特別児童扶養手当の支給対象及びその他健康面、発達面において特別な支援が必要な子ども	実績値 利用量（人） 9	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 年間受入人数（人） -	